

今般の特定外来生物の選定について

1. 今般の特定外来生物の選定候補及びその趣旨

○近年、既に特定外来生物に指定されているブルーギル (*Lepomis macrochirus*) と同属の未判定外来生物であるパンプキンシードサンフィッシュ (*Lepomis gibbosus*) やロングイヤーサンフィッシュ (*Lepomis megalotis*) が、国内の一部河川で発見され、定着が疑われる状況にある。今後、本種が拡散すれば、在来の生態系に大きな被害を及ぼす可能性が高い。また、同属他種についても河川や湖沼に導入されれば定着し、在来の生態系に被害を及ぼす可能性が高く、*Lepomis* 属が未判定外来生物への指定以前に観賞魚として流通していた状況も踏まえ、ブルーギル属全種 (*Lepomis* spp.) について、特定外来生物に選定する候補とする。

○マーレーコッド (*Maccullochella peelii*) 及びゴールデンパーチ (*Macquaria ambigua*) について、両種とも海外ではルアーフィッシングの対象魚であり、特にマーレーコッドについては近年国内でも利用が始まっている状況にある。これらが国内の河川に侵入した場合、在来種への生態系被害が懸念されることから、特定外来生物に選定する候補とする。なお、マーレーコッド以外のマクルロケルラ属全種 (*Maccullochella* spp.) 及びゴールデンパーチ以外のマククアリア属全種 (*Macquaria* spp.) は未判定外来生物に指定されている。

○近年、コウライオヤニラミ (*Coreoperca herzi*) 及びナンエツオヤニラミ (*Coreoperca whiteheadi*) が国内の河川から確認されている。特にコウライオヤニラミについては宮崎県大淀川に定着しており、在来種への生態系被害が懸念されている。また、これらの種と近縁である *Coreoperca liui* についても、国内の河川侵入した場合同様の被害をもたらすことが懸念されることから、オヤニラミ (*Coreoperca kawamebari*) を除くオヤニラミ属の全種 (*Coreoperca* spp.) を特定外来生物に選定する候補とする。

<選定候補>

●*Lepomis* 属 (ブルーギル属) 全種

※既に特定外来生物に指定されているブルーギル (*Lepomis macrochirus*) を除く。

※属内の交雑種含む。

●マーレーコッド (*Maccullochella peelii*)

●ゴールデンパーチ (*Macquaria ambigua*)

●*Coreoperca* 属 (オヤニラミ属) に属する種のうちオヤニラミ (*Coreoperca*

kawamebari) 以外のもの

2. 特定外来生物指定に向けたスケジュール（予定）

令和7年6月17日：専門家グループ会合【魚類】開催

令和7年10月28日：専門家会合【全体会合】開催

春頃：衛生植物検疫措置の適用に関する協定に基づく通報（SPS 通報）

：政令案パブリックコメント（30日間）

夏頃：政令公布

：政令施行